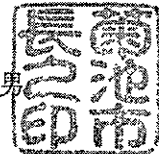


菊 土 第 159 号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

菊池市長 福村 三男



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、
別紙のとおり提出します。

今後の行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

熊本県菊池市

道路は地域活性化はもとより、教育・医療・福祉などの生活環境の向上を図るうえで最も基礎的な社会資本であります。特に、公共交通機関が発達していない地方においては、車が唯一の交通手段であり、道路整備を始めとするインフラの整備が急務となっています。政府は、都市圏での道路整備は一応の整備が終わっているとの認識で、「道路特定財源」を一般財源化しよう閣議決定されましたが、地方の道路整備には尚一層の予算が必要不可欠であります。

このようなことから、都市圏での道路関係予算を削減し、地方の道路予算に充当すると共に予算の総枠を増額するよう要望いたします。

また、国・県道の整備は勿論、市道整備における新たな交付金制度を設けるよう提案します。

今後の行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

熊本県菊池市

○現状

本市の現状を掲げると、少子・高齢化の進展は予想以上の速さで進んでおり、都市部への一極集中により、中山間地域における過疎化・高齢化は顕著なものがあります。他方、近年の異常気象による災害の発生は、中山間地域に多大な被害をもたらし、人命の救助及び財産の保全に苦慮している状況であります。

日本の景気は好況であるとマスコミ等で報道されていますが、地方の景気は冷え込み、抜本的な打開策は見出せない状況であります。景気浮揚の一助となる市街地における国道の整備は、地方の経済及び活性化の根幹をなすものであります。本市における一般国道325号は、朝夕の渋滞が多く見られ、緊急車輛の往来にも支障をきたしている現状です。

○課題

災害発生時や救急出動時に必要不可欠な国道・県・市道の道路整備。

沿線住民や商工業者は勿論のこと、住民が久しく待望している。国道、325号の4車線化。

平成17年3月に4市町村合併により誕生した新「菊池市」における旧市町村間を結ぶ「人」と「モノ」を運ぶ生活道路の道路網整備。

道路については、産業の発展と安全で快適な市民生活を支える基礎的な要件であり、良好な道路環境の保全・創造に努め、道路緑化や歩道の整備を推進して、良好な街並み、道路空間の形成を図る。また、市民生活だけではなく、産業交通や観光交通にも対応した道路網の整備を進め、土地利用との整合性の取れた良好な交通環境の確立に努める。

○国道325号は、県北部経済圏と熊本空港・テクノポリスなどを結ぶ重要な道路である。現状、旭志工区まで四車線化が進んでいるが、菊池市街地のルート決定を含め、管内の四車線化の早期実現を図る必要がある。

○国道387号は、花房地区の交差点及び重味地区の拡幅などの改良や交通安全対策の事業を行う必要がある。

○広域的な視点から計画的・機能的な交通ネットワークの強化を図るため、交通円滑化にも配慮して、国道を保管する県道等の整備を促進する。

○県道及び市道については、市町村合併により行政範囲や市民の生活圏が拡大したことにより、広域的なアクセスルートとしての整備が必要。

○市街地の道路整備については、シンボル道路として整備することで街並みの景観を向上させ、市民の生活利便性の向上と、来街者の導線を確保し、商業地の人の賑わいを取り戻し、観光振興、産業の活性化を促進する。

○阿蘇・菊池溪谷等の観光地を結ぶ観光ルートや近隣地域との交流・産業ルートなどの確保のため、菊池グリーンロードなどのアクセス道路の整備を促進する。

○交通安全対策や市民の利便性向上を促進するため、生活道路等の整備や維持管理に努める。